

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

2022年11月16日

証券コード:6082



2023年3月期 第2 四半期 業績報告

2023年3月期 第2四半期サマリー

消費者の行動の変化が想定以上に早く表れたことにより、デリバリー需要に変化がみられる。為替などの外部環境の影響により食材仕入れ価格が想定より高騰したため、減収減益となる。

2023年3月期 期初予想

緊急事態宣言による特需の反動を勘案

ロシアウクライナ問題による影響を勘案し、仕入価格の見通しを設定

市場拡大のため、新規エリアへの出店を加速する

2023年3月期 第2四半期 実績

消費者の行動の変化が想定以上に早く表れたことによりデリバリー需要に変化

為替による仕入れ価格の高騰が発生し、当初想定より売上総利益が減少

第2四半期まで出店は順調。第3四半期以降は事業収益改善のため出店は慎重に判断

2023年3月期 第2四半期業績ハイライト

(単位：百万円)

	23.3期 2Q 実績(連結)	22.3期 2Q 実績(連結)	前期増減率 (%)	23.3期 通期 予想(連結)	計画進捗率 (%)
売上高	12,119	12,364	△2.0	25,536	47.5
売上総利益	5,830	6,247	△6.7	-	-
営業利益	469	1,172	△59.9	1,309	35.9
経常利益	409	1,161	△64.7	1,269	32.3
親会社株主に帰属 する当期純利益	267	732	△63.5	815	32.8

※2022.11.14
業績予想修正

2023年3月期 四半期業績

(単位：百万円)

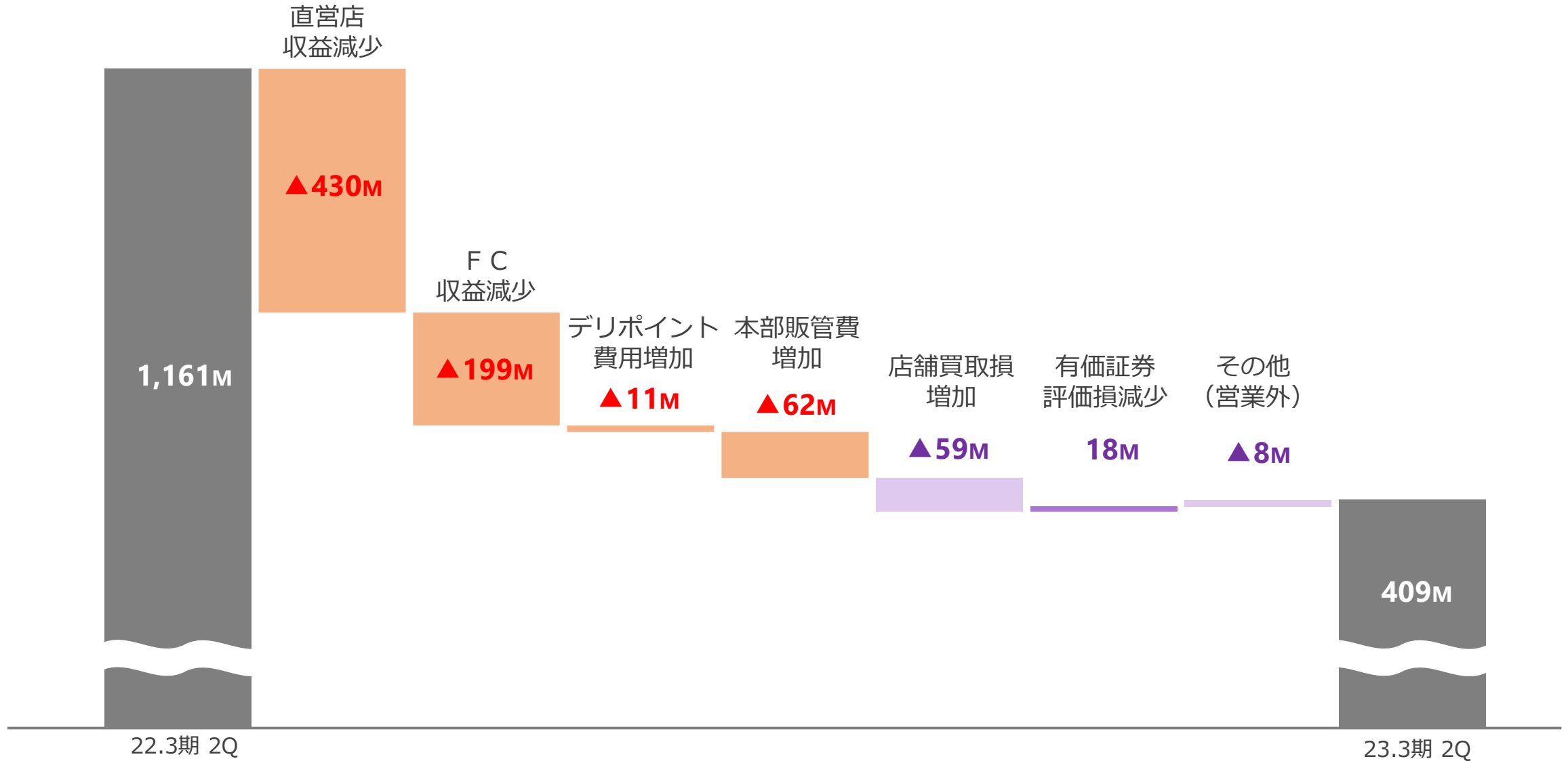
	23.3期 累計実績(連結)	23.3期 1Q	23.3期 2Q	23.3期 3Q	23.3期 4Q
売上高	12,119	5,866	6,252	-	-
売上総利益	5,830	2,862	2,967	-	-
営業利益	469	191	278	-	-
経常利益	409	143	266	-	-

■売上構成比

(単位：%)

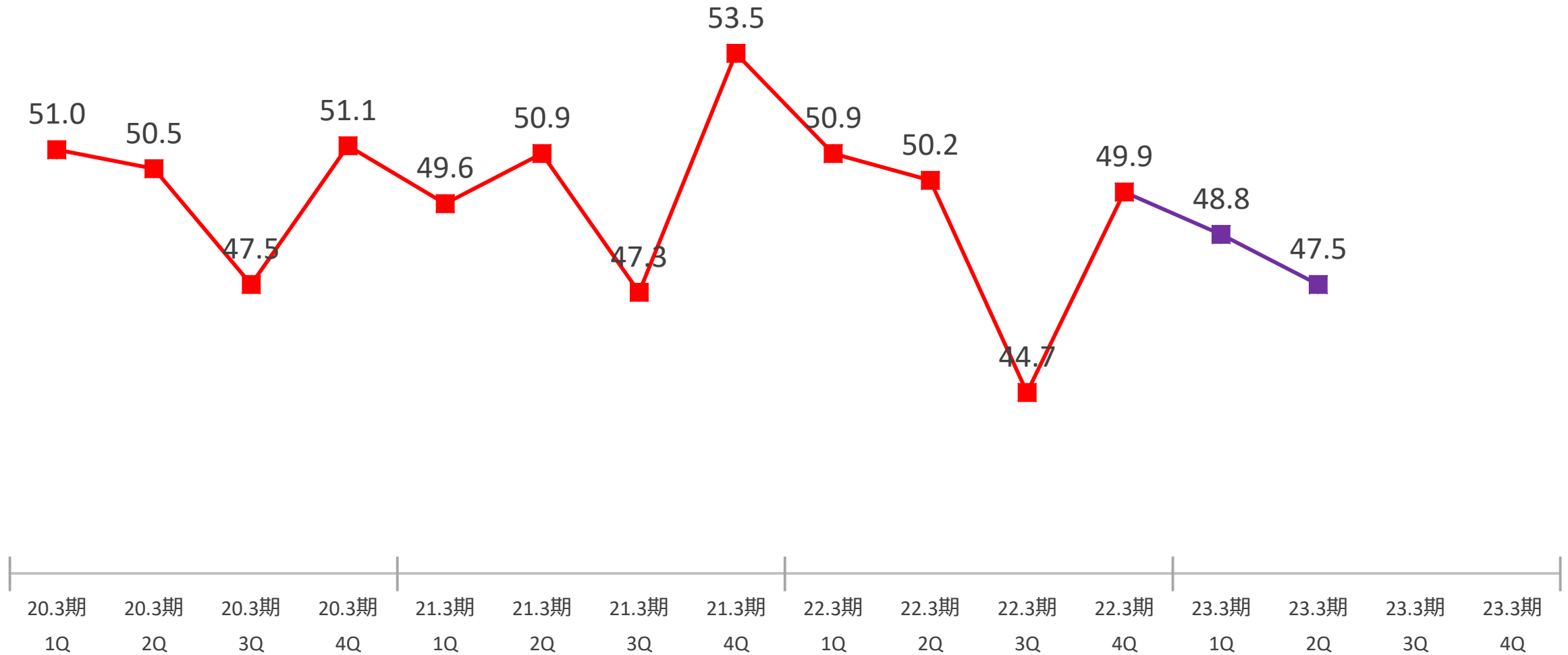
売上総利益率	48.1	48.8	47.5	-	-
営業利益率	3.9	3.3	4.4	-	-
経常利益率	3.4	2.4	4.3	-	-

経常利益の前期比増減の構成 – 第2四半期



売上総利益率推移

(単位：%)



※ 第3四半期は、繁忙期である年末年始期間（12/31～1/3）に使用される食材の販売実績が前倒しで計上されるため、売上総利益率が減少する傾向があります。

※ 小数点第2位を四捨五入しています。

店舗数・拠点数の増減

事業形態	ブランド	22.3期末 店舗数	出店	閉店	23.3期 2Q店舗数
宅配事業	銀のさら	373	8	△2	379
	釜寅	220	6	△3	223
	すし上等!	147	4	△1	150
	DEKITATE	1	—	—	1
宅配代行業業	ファインダイン	17	—	—	17
その他	和食レストラン	2	—	—	2
合計		760	18	△6	772

	22.3期末 拠点数	拠点開設	拠点閉鎖	区分変更	22.3期 2Q拠点数
直営店	107	3	—	4	114
FC店	271	5	△2	△4	270
合計	378	8	△2	0	384

取り組み：宅配寿司「銀のさら」 タイ王国バンコクで海外初出店！

株式会社 JALUX（ジャルックス、本社：東京都港区、代表取締役社長：高濱 悟）とフランチャイズ契約を締結し、「銀のさら」の海外初のフランチャイズ第1号店となる「銀のさらトンロー日本市場店」を、タイ王国バンコクの日本生鮮卸売市場「トンロー日本市場」内にオープンいたしました。

日本で提供するお寿司と同様に、「おいしいお寿司をもっと身近に」楽しんでいただけるよう、品質、サービスにこだわった、本格的なお寿司を提供いたします。



2023年3月期 業績予想 – 連結

※2022.11.14に業績予想を修正いたしました

(単位：百万円)	23.3期 通期 予想(連結)	22.3期 通期 実績(連結)	前期増減率 (%)
売上高	25,536	25,703	△0.6
営業利益	1,309	1,943	△32.6
経常利益	1,269	1,999	△36.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	815	1,246	△34.5

今後の成長戦略

① 自社ブランドの開発と複合化の強化

首都圏での展開を担うブランド開発を推進。今期3ブランドの検証をスタート。



2022年7月オープン

鶏の旨味を凝縮した調味料「鶏醬(ケイショウ)」を使用した旨味溢れる唐揚げ専門店です。唐揚げ本来の味はもちろん6種の特製ソースそれぞれの美味しさもお楽しみいただけます。



2022年9月オープン

吟醸酒の酒粕で漬け込んだ絶品粕漬けと、粕漬けとの相性抜群のおばんざいと炊き込みご飯。研ぎ澄まされた繊細な味覚をご堪能いただけるお弁当です。

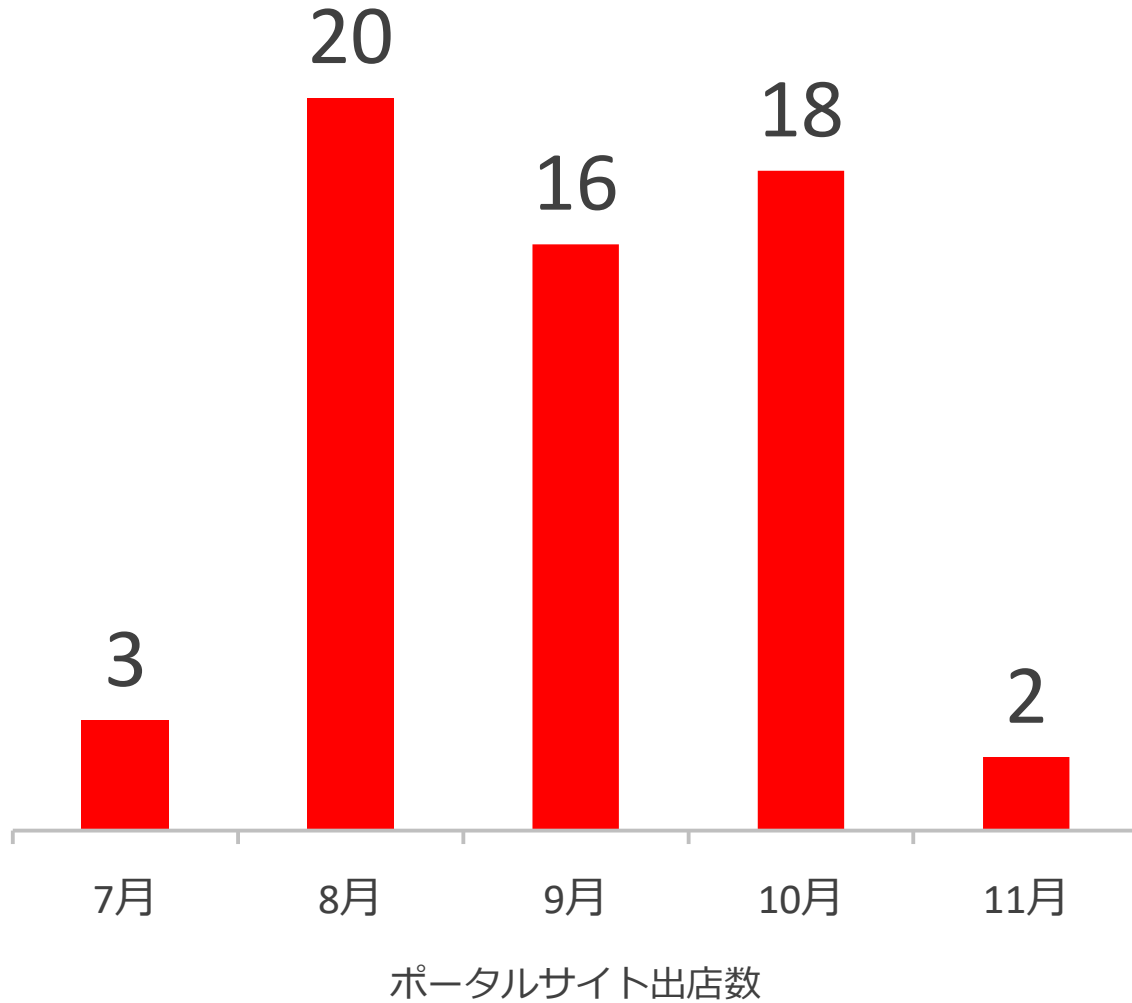


2022年10月オープン

香り高く、旨味の強い、厳選うなぎを、こだわり抜いた秘伝の山椒タレでじっくり焼き上げたうなぎ重の決定版をお楽しみいただけます。

② 配送ネットワークと情報ネットワークの強化

各社ポータルサイトへの出店を促進。直営店59店舗で効果検証をスタート。



今期の特化施策

出店の更なる加速

営業、開発を担当する人員配置、組織体制を大きく見直すことにより、前期以上の出店を加速度的に実行。



既存店の移設

裏路地ではなく、視認性の高い立地への移設を行うことにより、ブランド認知の向上と、複数ブランド付設の設備設置スペースを確保。



フルブランド化 テイクアウト併設

出店エリアにおけるライドオンチェーン売上の最大化により、市場の拡大を見込む。



事業収益の改善を最優先にするため慎重に判断

ライドオンが目指す経営目標

拠点数

500 拠点

(22.3期末 378拠点)

ブランド
店舗数

1,000 店舗

(22.3期末 760店舗)

チェーン
総売上高

600 億

(22.3期末 427億)

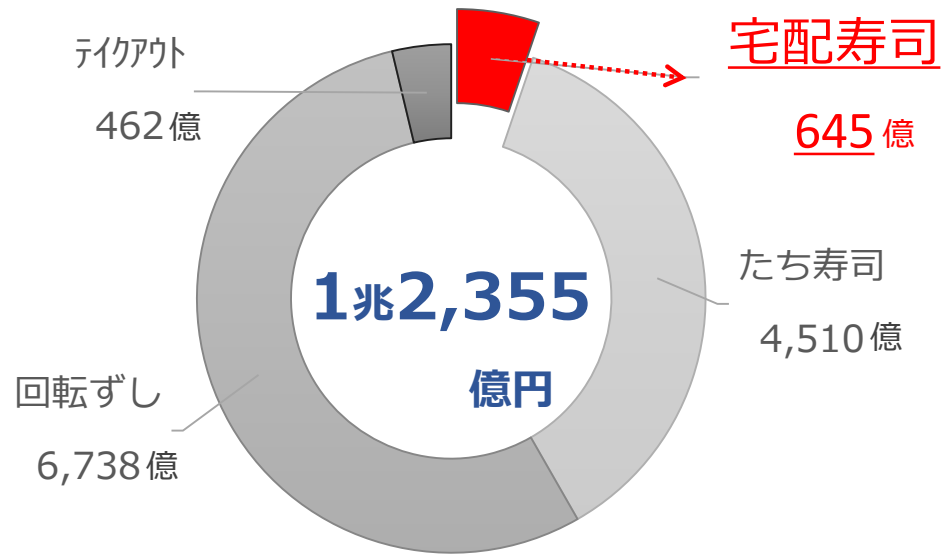
補足資料

連結B/S 対前期末

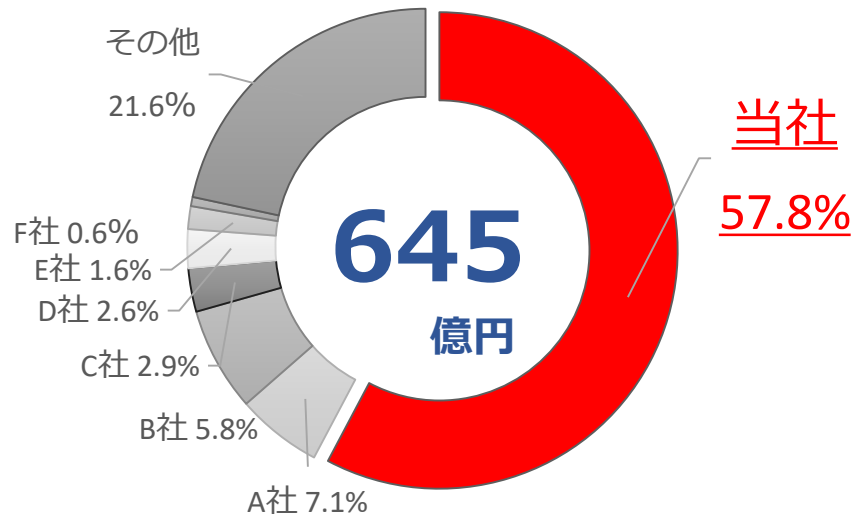
(単位：百万円)	22.3期末	23.3期 2Q	前期比	ポイント
流動資産	7,313	6,364	△949	資産 △978百万円 ----- 【流動資産】 △ 949百万円 ・ 現金及び預金 △1,221百万円 ・ 売掛金 △ 135百万円 ・ 原材料及び貯蔵品 + 441百万円 【固定資産】 △ 29百万円 ・ 有形固定資産 △ 2百万円 ・ 無形固定資産 △ 30百万円 ・ 投資その他資産 + 3百万円
(うち現預金)	4,003	2,782	△1,221	
有形固定資産	1,140	1,138	△2	
無形固定資産	473	442	△30	
投資その他資産	2,516	2,520	+3	
資産合計	11,444	10,465	△978	
流動負債	3,554	3,062	△491	負債 △487百万円 ----- 【流動負債】 △ 491百万円 ・ 未払法人税 △ 61百万円 ・ 短期借入金 + 200百万円 ・ 未払金 △ 311百万円 ・ 1年内返済予定の長期借入金 △ 217百万円 【固定負債】 + 4百万円 ・ 資産除去債務 + 5百万円
(うち1年内有利子負債)	389	372	△17	
固定負債	533	538	+4	
(うち1年超有利子負債)	2	-	△2	
負債合計	4,087	3,600	△487	
株主資本	7,249	6,736	△513	純資産 △491百万円 ----- 【株主資本】 △ 513百万円 ・ 四半期純利益 + 267百万円 ・ 配当金 △ 303百万円 ・ 自己株式取得 △ 500百万円
純資産合計	7,356	6,865	△491	
負債・純資産合計	11,444	10,465	△978	

市場規模

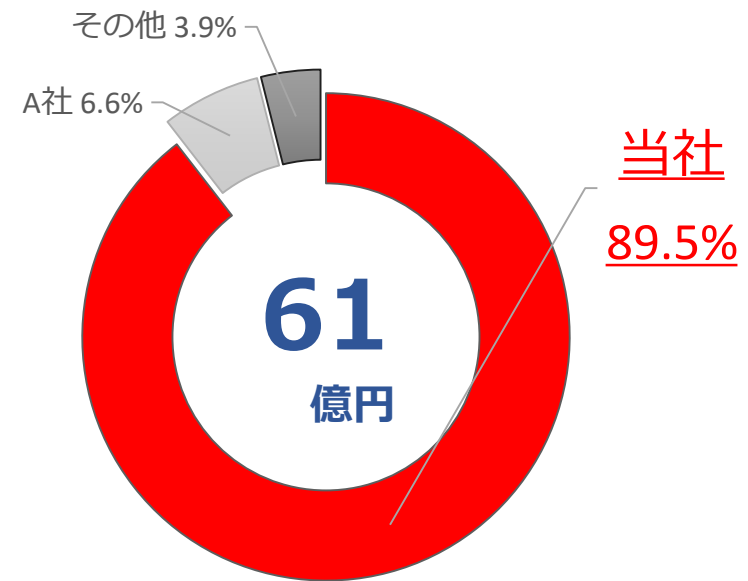
※株式会社富士経済（外食産業マーケティング便覧2022）より



日本の寿司市場 (2021年実績)



宅配寿司市場 (2021年実績)



宅配釜飯市場 (2021年実績)



RIDE ON EXPRESS
HOLDINGS